障害福祉の仕事は、「困っている人がいたら助けたい」という、シンプルな気持ちから生まれる思いが仕事につながっています。また、仕事を通じて、利用者の一人ひとりが持つ純粋で懸命な姿や個々の価値観に触れることで、自分自身の視野や人生感が大きく広がることもあります。実際の現場で働く、様々な職種の皆さんに話を聞いてみました。

① 職場　② 職種・資格　③ 名前



子どものサービス

①こども発達支援センター「銀河」
②保育士
③矢野 さん

・どんな仕事？

個別の支援計画に合わせ、保護者の思いも考えて支援をしています。子どもたちの特性に応じて、声かけや手足の動き等をサポートすることもありますが、基本的には出来ることは見守っています。もともと、障がいのある子どもの保育に興味があり、保育士の学校を卒業後すぐに今の職場に入職しました。

・福祉の仕事の魅力とは？

子どもの成長を間近で見られることです。出来ないことが出来るようになったら、私もうれしい。入職して半年ですが、名前が言えなかった利用児が言えるようになった時はとてもうれしかったです。支援に正解はないので、難しいと思うこともありますが、いろんなことを子どもと一緒にチャレンジすることで、自分もスキルアップにつながっています。



相談のサービス

①相談支援事業所はぎの
②相談支援専門員・社会福祉士・介護福祉士
③穴井 さん

・どんな仕事？

主に障がいのある子どもから大人までの様々な日常生活の困りの相談支援を行っています。また、障害福祉サービスを利用する際の計画書を作成したり、経過をみて計画を見直したりしています。高校生の時に、困った人から相談を受ける仕事がしたいと思ったのがきっかけで、今の仕事につながっています。

・福祉の仕事の魅力とは？

障がい者の相談支援の仕事だからこそ、幼少期から亡くなるまで、一生涯の支援ができることが一番の魅力。学校生活の支援、旅行への支援、仕事の支援など、ライフステージごとに違った支援があり、それが自分の支援の糧になっています。障がい分野の仕事は利用者によって支援の内容が多様なので、大変ですがとても楽しいです。



通いのサービス

①ミニえくぼ
②支援員
③加藤 さん

・どんな仕事？

就労に向けての支援の中で、農業部門の担当をしています。様々な作業に分けられる農作業の中で、利用者一人ひとりに合った作業内容を切り出し、作業のサポートを行っています。農業は、この仕事についてから独学で学び、利用者と季節や天候に合わせて様々な品目を生産しています。

・福祉の仕事の魅力とは？

福祉と農業を組み合わせた、「農福連携」の可能性に魅力を強く感じています。農業の人手不足解消と生産性の向上を目指すことで、利用者の収入増や仕事の充実に直結し、一人ひとりの人生の楽しみを広げることにつながっています。さらに、地域の農家さんと協力する事で技術を学べ、自分たちが栽培し収穫した野菜や米を地域の人に届けることで、地域社会との温かいつながりや障がいがある人への者理解が生まれています。



子どものサービス

①アンジン
②看護師
③穴井 さん

・どんな仕事？

事業所に通う子どもの健康チェックをしたり、痰の吸引や胃ろうからの水分提供をしたりなど、医療的にケアが必要な子どもの支援をしています。病院の看護師はいろいろな数値や身体の状態を優先したケアを行いますが、ここでは家族の思いを大事にし、日々の生活の中での身体と心の元気を中心にして医療的な支援を行います。

・福祉の仕事の魅力とは？

家族が安心した中で、医療的ケアが必要な子どもが社会とのつながりを作るお手伝いができること。家族の願いに近づけられるよう、QOL（人生の質）を一番大事にして支援を行うことが福祉の仕事だと思います。病院での看護師と福祉現場での看護師の考え方にはギャップがあり、そこに行きつくまでは大変でしたが、子どもたちに育ててもらっていることを実感する日々です。



子どものサービス

①放課後等デイサービス さわやか愛の家 ひた館
②機能訓練指導員・理学療法士
③長定 さん

・どんな仕事？

色々な運動や工作活動を通じて、生活に必要な土台の部分を作る訓練を提供しています。小さな集団での活動が多いですが、必要に応じて個別に言葉のトレーニングをしたり、遊びの中で身体の使い方の練習や指先を使った活動をしたりしています。

・福祉の仕事の魅力とは？

子どもたちの「できた！」を間近で一緒に喜べることです。できたときは一緒に喜んでハイタッチをすることもあります。「子どもにとっては何でもないこと」の時もありますが、子どもたちの成長がうれしく、病院での経験とは違った喜びを感じます。



住まいのサービス

①ひばり～ヒルズ
②サービス管理責任者・社会福祉士・介護福祉士
③川村 さん

・どんな仕事？

入所利用者の食事や入浴の介助などの施設内の生活支援や、外出などの余暇支援を行っています。入所施設なので夜勤も。他には、医療機関とのやり取りや新規利用希望者の対応など、施設の相談員的な役割も行っています。入所施設は利用者の日常生活の場所。家庭的な雰囲気で過ごせるよう、職員はユニフォームなどを設けずに業務にあたったり、同性介護を基本としたりするなど、その人の生活を尊重しています。

・福祉の仕事の魅力とは？

利用者の真っ直ぐな気持ちにどう答えていくかを考えることに面白さと魅力を感じています。大学時代に支援学校のボランティアに参加した時に同じことを感じ、この道に。気持ちが真っ直ぐなゆえに大変なところもあって、ぶつかることもありますが、支援者と利用者ではなく、等身大の自分でその人の気持ちに向き合えることを大事にしています。



訪問系サービス

①Beeすけっと
②ホームヘルパー・介護福祉士
③綾垣 さん

・どんな仕事？

障がい者の外出支援や自宅に訪問しての家事や入浴支援を行っています。今は10～70代までの幅広い年代の人を支援しています。障がいのある人の支援では同性介護を大事にしているので、男性の支援が中心。男性のヘルパーが少ないので増えると良いなと思います。

・福祉の仕事の魅力とは？

障がいのある人が日頃から暮らす場所で支援をするのはとても新鮮で、家族との距離も近く、利用者の変化が分かりやすいです。いろんな人に出会えて、その人がどんな人か分かるとうれしい。同じ障がいを持っていても、一人ひとり、気になることや好きなこと、意思の伝え方が違うので、勉強になり、やりがいを感じます。



通いのサービス

①ブルース
②サービス管理責任者・社会福祉士・介護福祉士
③栗山 さん

・どんな仕事？

就労に向けての支援をするのが主な仕事。仕事に向けての支援には、作業能力や生活能力に加え、気持ちの安定や人間関係など色々な要素があるので、利用者と話し合いながら、一人ひとりの支援計画を考えて支援をしています。また、仕事を請け負うための営業や調整、関係機関との連携や広報活動など、色々なことをやっていますが、今の仕事が一番楽しいと感じています。

・福祉の仕事の魅力とは？

働くという字は人が動くと書きますが、「人の心が動くこと」がこの仕事の魅力です。中学校1年生の時に障がいのある人に関わるボランティアに参加したことがきっかけでこの世界に。障がいのある人や支援する人たちのボランティアリーに圧倒され「これだ！」と心が動かされました。福祉は感情のコントロールが必要な仕事ですが、ダイレクトに感情のやり取りができ、ありのままの自分と向き合える仕事だと思います。